

中間支援活動助成事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 ソーシャルデザインセンター淡路	代表者名	理事長 木田 薫
事業名	<p><基本事業> SODA 地域づくり応援事業 (SODA はソーシャルデザインセンター淡路の略称)</p> <p><企画立案事業> 地域課題解決と地域循環経済を促進する「三世代バンク」の開設 ～新たな中間支援～</p>		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2018 年 9 月 3 日	第 1 回三世代バンク設立準備会
9 月 23 日	「三世代バンク」しごとづくり…耕作放棄地等の草刈事業開始
9 月 25 日	第 2 回三世代バンク設立準備会
10 月 9 日 (9:00~10:00)	第 3 回三世代バンク設立準備会
10 月 9 日 (13:00~15:00)	第 4 回三世代バンク設立準備会
10 月 15 日	第 5 回三世代バンク設立準備会
11 月 1 日	おしゃべり工房 G & B 打ち合わせ会議
11 月 28 日	NPO と行政の参画と協働 第 7 回これからの島の暮らしを考える市役所
12 月 13 日	第 1 回おしゃべり工房 G & B
2019 年 1 月 11 日	第 6 回三世代バンク設立準備会
1 月 22 日	空き家活用事業「第 1 回空き家ワークショップ」
1 月 26 日	NPO と行政の参画と協働 第 8 回これからの島の暮らしを考える市役所
2 月 11 日	東京で淡路島を考える～地域の未来を創る「縦」と「横」のつながり

2月16日	”地域で生きる”を支えるしくみを考える～循環型の地域デザイン～
3月12日	七代目が語る二宮金次郎～心田（ひと）づくり、田畑（まち）づくりの極意～
3月18日	空き家活用事業「第2回空き家ワークショップ」

<効果と成果>

基本事業のネットワーク業務については、SODAが異業種交流事業の事務局に取り組むことで地域の経済活動と地域課題を直結させていくようなまちのコーディネーターの役割を担うことが出来た今年度の成功事例は、これからの新たな中間支援のあり方として提案したい。

企画事業の「三世代バンク」については、地域課題に取り組む資金について、世代間を繋ぐ仕組みで地域の経済循環を生み出すことができるのではないかという可能性を感じる取り組みが出来たといえる。特に「おしゃべり工房G&B」をモデル事業として取り組むことができた成果は大きい。また未利用資源の活用については、耕作放棄地の草刈事業や空き家活用事業等の取り組みから始めている。このような事業を最終的に包括することで「三世代バンク」のしくみとなるであろう。

<収支決算書>

[基本事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己資金	21,500
合 計	521,500

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	講師謝金	80,000	80,000
	旅費交通費	53,680	53,680
	委託料	80,000	80,000
	その他(直接人件費、会場費等)	153,888	153,888
	小 計	367,568	367,568
間接経費(一般管理費)		153,932	132,432
合 計		521,500	500,000

[企画立案事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己資金	2,781
合 計	502,781

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	講師謝金	90,000	90,000
	旅費交通費	130,076	130,076
	会場費	30,000	30,000
	その他(印刷代、委託料等)	152,024	152,024
	小 計	402,100	402,100
間接経費(一般管理費)		100,681	97,900
合 計		502,781	500,000